私は、普段私用のPCでWindowsとUbuntuを使用しており、大学ではMacOSXを使用している。スマートフォンではAndroidを使用している。

普段使用しているUbuntuの好きなところは大きく分けて2点である。

・自由に様々な部分をカスタマイズできる。

・使用できるソフトウェアの数が多い

私は実際にGUIやシェルを自分で使いやすくカスタマイズした。見た目はモチベーションに直結するのでGUIテーマやプロンプトも自分で調べながら変更した。それ以外にもランチャーなどの拡張機能をインストールして、使いやすくした。カスタマイズしている段階でコマンドなどわからない点が出てきた場合はその都度調べたり、知人のエンジニアや大学の先輩に相談したりして解決した。それにより、自分の理想の環境を作り上げることができたほか、Linuxについて理解を深めることができた。

私がUbuntuを入れる直前までは「Windowsほど使えるソフトも多くはないだろうし、何か作業をする上でWindowsを使う必要があるかもしれないな」と考えていた。しかし、環境構築をしている過程でUbuntuのソフトウェアセンターを覗いてみたり、Webで調べていたりするうちに必要としているVScodeやChromeなどのソフトウェアはLinux版も公開されていたりオープンソースのソフトウェアで代替することができることに気づいた。また、どうしてもWindowsのソフトウェアを使う必要が出てきた場合はWineを使って起動することもできることも知って衝撃を受けた。WindowsからUbuntuに乗り換えてからソフトウェアで困ったことがない。

続いてUbuntuについて改善してほしいと考えている点だが、現状では具体的な改善点が見つかるほど使いこなせておらず、何をするにも調べながらであり、調べながら試行錯誤して目的を達成することがものすごく楽しいので、特に改善点は思い浮かばなかった。強いて言うとすれば、Windowsほどやりたいことが直感的にできないことだろうか。コマンド操作をすることがWindowsを使用していた頃と比べて圧倒的に多くなったため、Webで調べながらコマンド操作をすることが多くなった。しかし、先述の通り、調べながら操作し、なんとか目的を達成することが楽しいと感じているため、改善点とは言えないのかもしれない。回答になっていなかったら申し訳ない。

続いて、Windowsについてだ。Windowsの好きな点、改善してほしい点を述べていこうと思う。

Windowsの好きな点

・基本的にGUIの直感的な操作で完結することが多く、使いやすい

・多くの人が使っているOSのため、情報が豊富  
Windowsはものすごく使いやすい。私もメインのPCでは現在もWindowsを使用しているし、大学に持ち運んでいるノートPCも以前はWindowsを使用していた。基本的な操作から多少複雑な操作までコマンドプロンプトなどの端末画面に一切触れずにGUIで目的の操作を達成できてしまうのでものすごく使いやすいと感じる。

しかし、それでもわからない点が出てくる場合がある。そのときは多くの情報が助けてくれる。その情報の多さもWindowsの魅力だと感じており、過去に何度もその情報に助けられている。現在、大学のヘルプデスクのアルバイトをしており、学生のPCを診ることが多いが、Windowsである場合がほとんどであるため、もしわからないことがあっても調べれば出てくる場合が多いという安心感がある。

続いて、Windowsの改善点だが、大きく2点ある。

・見た目を大きく変えることが難しい

・マルウェアが多い

前者の「見た目を大きく変えることが難しい」であるが、Windowsはオープンソースではないため、ユーザがGUIなどのテーマを大きく変更することは難しいと考えている。Windowsではシステムで使用するフォントを変えたり、GUIの色を変えたり、Windows7風のスタートボタン/スタートメニューを設置することしかカスタマイズできなかった。

後者は、過去に何度もマルウェアに自分のPCが汚染されており、その都度駆除を行ったという過去があるため、改善点に挙げた。最初の感染は中学生の頃だった。Webでいかがわしいサイトを閲覧してしまい、感染したと思われる。ある時、私はPCの動作が重いことに気づいた。当時スクリプトでウイルスもどきを作って遊んでいた私は、ウイルス感染を疑い、ブラウザでウイルス対策ソフトをダウンロードしようとした。しかし、トレンドマイクロやノートンなどのウイルス対策ソフトのページの他、Microsoftのページにもアクセスができなくなっていた。ウイルスを入れてしまったことが親にバレてしまうと怒られるので、なんとか自力で対処しようとした。そこで思いついたのが、当時使っていたWindows7に入っていたWindows XP mode(仮想マシン)を使った駆除方法だ。当時は仮想マシンの詳しい仕組みはわからなかったが、Windows7の中で別のWindowsが動いているということだけは理解していた。当時は「PCの中に別なPCがある」と考えていた。XP modeでIEを起動し、「ウイルス対策ソフト インストール不要」と検索し、McAfeeのポータブル版のページを開くことに成功した。「これでようやく怒られずにウイルスを消せる」と安心したと同時に、ウイルスは仮想マシンの中身には影響を与えないということも理解した。そのページからソフトをダウンロードして、Googleドライブにアップロードした。ホストPC側に戻ってGoogleドライブから先程アップロードしたソフトをダウンロード後起動し、PCのスキャンを実行したらかなりの量のウイルスが検出され、駆除された。その後、PCは正常に使えるようになり、親にもバレることはなかった。

Androidの好きなところ、改善してほしいところについてだ。

好きなところ

・ホームアプリを変更することでジェスチャー機能などを使用することができる

・ウィジェット機能でアプリを開かずとも情報を確認することができる

これはUbuntuの好きなところで述べたことと多少かなさる点ではあるが、ホームアプリを変更することで、デフォルトのホームアプリでは使用できないジェスチャー機能などを使用して、アプリを起動したり、アプリ内の機能にショートカットしたりすることができる。また、デフォルトのホームアプリでも可能だが、ウィジェットをホーム画面上に配置することでアプリを開かずとも情報を確認することができる。使いやすいように自由ホーム画面や項目の大きさ等様々な箇所を変更することが可能なところがAndroidで気に入っているところだ。

続いて、改善してほしい箇所だが、iOSのようにその端末専用のOSというわけではなく、いろいろな端末にインストールできる(最近PCにもインストールできることを知った)ため、その端末に最適化されているわけではないということだと考える。多少スペックの低いスマートフォンだと、Twitterなどのアプリを何個か開くだけで端末が発熱してフリーズしてしまうことがある。また、稀にアプリの動作が不安定になってしまうことがあり、OS ごと再起動となってしまうことがある。私はよくスマートフォンを目覚しに使用しているのだが、寝ている間にAndroidが再起動してしまい、翌朝アラームが鳴動せずに起きられなかったことがある。それ以来スマートフォンとAmazon Echoの2つのデバイスでアラームを冗長化している。

最後に、大学で使用しているMacOSXについてである。

大学では、演習用の環境としてiMacをシンクライアント運用しており、NetBoot機能を用い、学科の演習サーバ上にあるMacOSをネットワーク越しに起動している。

MacOSの好きなところは2点ある。

・UNIXであること

・文字が読みやすい

MacはUNIXであるため、Linuxと同じコマンド、同じシェルを使用することができる。そのおかげで、自分のUbuntu環境とかなり似ている環境を作ることができる。また、何かわからないことがあってもLinux用の情報を応用させることができるため、情報も多い。これはUbuntuを普段から使用しているときも感じており、先程と逆にMac用の情報をUbuntuに応用することもできるため、今以上にLinux初心者だった頃、コマンドを調べるときやシェルを変更するときなどにMac用の情報を参考にして解決したことがある。

MacOSはWindowsやUbuntuと比較してGUIがきれいだと感じることが多い。

特にフォントがきれいに表示されるため、とても読みやすく、Windowsと比較して長時間記事を読んでいたりプログラミングをしていても目が疲れにくくなったと感じる。大学のMacOSXは古いバージョンなのだが、最新のバージョンではダークモードが追加されているため、今以上に文字が読みやすくなると考えている。後学期からはMacの機器更新とともに、最新バージョンになるため、とても楽しみにしている。

続いて、MacOSの改善してほしいところだ。

・ショートカットキーがWindowsと異なっているところ

これは初めてMacOSを触ったときに感じた。ブラウザの更新がF5キーでできなかったのだ。Windowsのキーバインドが標準だとは思っていないが、何かの規格で定められているものだと考えていた。調べてみるとCommon User Accessという標準規格が存在し、Windowsの他、Unixなどにも実装されていると知った。Macの場合、Command+Rで更新が行えることを知り、WindowsでもCtrl+Rで更新できることを知った。CommandとCtrlは場所がほぼ同じであるため、WindowsのCtrlキーの機能をCommandキーに割り当てているのだと考えた。しかし、普段F5で更新しているため、Command+Rでは少し使いにくいと感じた。そのため、Webで調べると、ショートカットキーを変更する方法が見つかったため、Webページなどの更新をF5に割り当てて対応した。